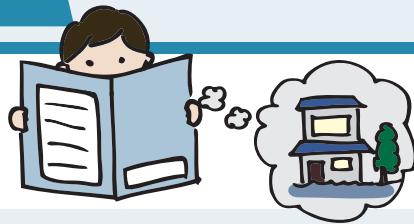


使いかた 1

お住まいの地域は、どのような災害の危険性があるか確認しましょう



使いかた 2

災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう  
大雨で河川氾濫が起きそうなとき (P11「避難フロー」参照)

命を  
守るために  
避難行動

避難先の  
優先順位 1

自宅・親戚宅・知人宅・  
職場など  
(浸水しない安全な場所)

避難先の  
優先順位 2

最寄りの避難所  
(浸水しない安全な場所)

避難先の  
優先順位 3

■最寄りの水害時(津波)避難ビル  
(浸水しない安全な場所)  
■高い建物や高い場所  
(浸水しない安全な場所)

使いかた 3

命を守るために、掲載している情報や  
マイタイムラインを活用し、日頃からの備えを確認

詳しくは、  
大阪市のホームページを  
ご覧ください。



## わが家の避難計画 大雨で河川氾濫が起きそうなとき

記入例

### 1 避難先

避難先を確認してメモしておきましょう。

原則

#### 早めの避難先

■自宅・親戚宅・知人宅・職場など  
(浸水しない安全な場所)

避難先①

○○区の祖父母宅

■最寄りの避難所  
(最寄りの浸水しない安全な場所)

避難先②

○○小学校

逃げ遅れたら・・・

その場そのときで命を守れる場所へ

■最寄りの水害時(津波)避難ビル  
(最寄りの浸水しない安全な場所)

■高い建物や高い場所  
(浸水しない安全な場所)

避難先③

隣の高層マンション

### 2 避難を開始するまでに何をするかを考えましょう。

やるべきこと

情報収集

気象情報・避難情報を確認

避難の準備

非常持ち出し品・備蓄品を確認

必要なもの探し出し

家財等の2階等への移動開始

家の周りの点検

飛ばされそうなものの片付け

窓の施錠の確認

携帯電話の充電

避難所の開設状況の確認

近所への声かけ

避難の声かけをする ✓ □一緒に避難する

名前 隣のおじいさん

連絡先 (06)xxxx-xxxx

避難の声かけをする □一緒に避難する

名前

連絡先

家族と連絡を取り合う  
(離れている場合)

避難の支援者に連絡  
(自己では避難が困難な場合)

その他

### 3 いつ避難を開始するかいつ何をするかを記入しましょう。

▶ [2]で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。

▶ 避難のタイミングを書き込みましょう。

その場そのときで命を守れる場所へ

■最寄りの水害時(津波)避難ビル  
(最寄りの浸水しない安全な場所)

■高い建物や高い場所  
(最寄りの浸水しない安全な場所)

避難先③

隣の高層マンション

記入欄 「いつ避難する?」「いつ何をする?」

例) 非常持ち出し袋を再確認しておく〔お母さん〕

・テレビ・ラジオをつける〔子どもたち〕

・非常持ち出し品・備蓄品を確認する(母)

・避難経路・避難場所を確認する(みんな)

例) 避難場所を再確認しておく〔みんな〕

・家の周りの点検をする(父)

・三輪車や木箱を家の中心にしまう(母)

・携帯電話の充電を確認する(父と母)

例) おばちゃんとお母さんが親戚の家に車で避難する

・家族と連絡を取り合う(みんな) この段階での避難先の自安

・隣のおじいさんに連絡する(母)

・○○区の祖父母宅に車で避難する(母と子どもたち)

例) ○○小学校へ避難する〔お父さんと子どもたち〕

・○○小学校へ避難する(父) この段階での避難先の自安

・○○区の祖父母宅へ避難する(母)

この段階での避難先の自安

・○○区の祖父母宅へ避難する(母)

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報が得るとは限りません。

状況に応じた柔軟な対応が重要です。

### 避難完了後

連絡方法

携帯電話・災害用伝言ダイヤル等

避難後には、家族や大切な人に無事避難したことを伝えましょう

家族の集合場所

○○区の祖父母宅